

信州大学機関リポジトリ (SOAR-IR) 平成21年度コンテンツ拡充

平成21年度目標

SOAR-IR登録コンテンツ倍増
2,400→5,000件

運営要項の見直し

- 登録者: 在籍したことのある教職員
- 登録対象: 種別ごとに例示
—学会報告・研究報告書・教育成果

信州大学機関リポジトリ
運営要項

教員説明会の実施

- 8学部・計9回開催し、
- SOAR-IR登録の効果・登録対象を説明
- 説明会後に教員からの登録依頼増

信州大学機関リポジトリ (SOAR-IR)の活用に向けて

1. 機関リポジトリとは?
2. リポジトリ登録の効果
3. 成果物を登録する

リポジトリ登録の効果

論文入手が容易に	新たな読者の獲得	研究成果の社会還元	研究成果の保存と活用
メタデータ検索エンジン	全世界からアクセス	大学の活動アピール	学会発表・講演会資料
電子ジャーナル登録	研究者向けにアクセス	教育学域のネットワーク	入手困難な成果物を保存・活用

許諾依頼をWeb上で実施

- 紀要発行学部の負担軽減
- 創刊号からの一括登録や遡及登録範囲の拡大

SOAR-RD(研究者総覧)業績リストからの登録

- 学会発表など、学術誌・紀要論文以外の登録が増加

登録者・登録範囲・対象の拡大

研究成果の自発的登録増

学内コンテンツの掘り起こし

『信州医学雑誌』

- 信州大学医学部・関連医療従事者による、医学系ジャーナル
- 創刊号(1952年)から全号、約2,600件登録

上田蚕糸専門学校資料

- 信州大学繊維学部の前身。創立100周年記念事業とも関連。
- 論文誌や講演集、同窓会報など、約1,340件登録

旧文理学部・教養部紀要

- Webでの許諾依頼を行い、約710件登録

競争的資金の成果報告書

- 外部資金担当部署と連携し、JST「シーズ発掘試験」などの成果報告書を登録

初代校長の伝記

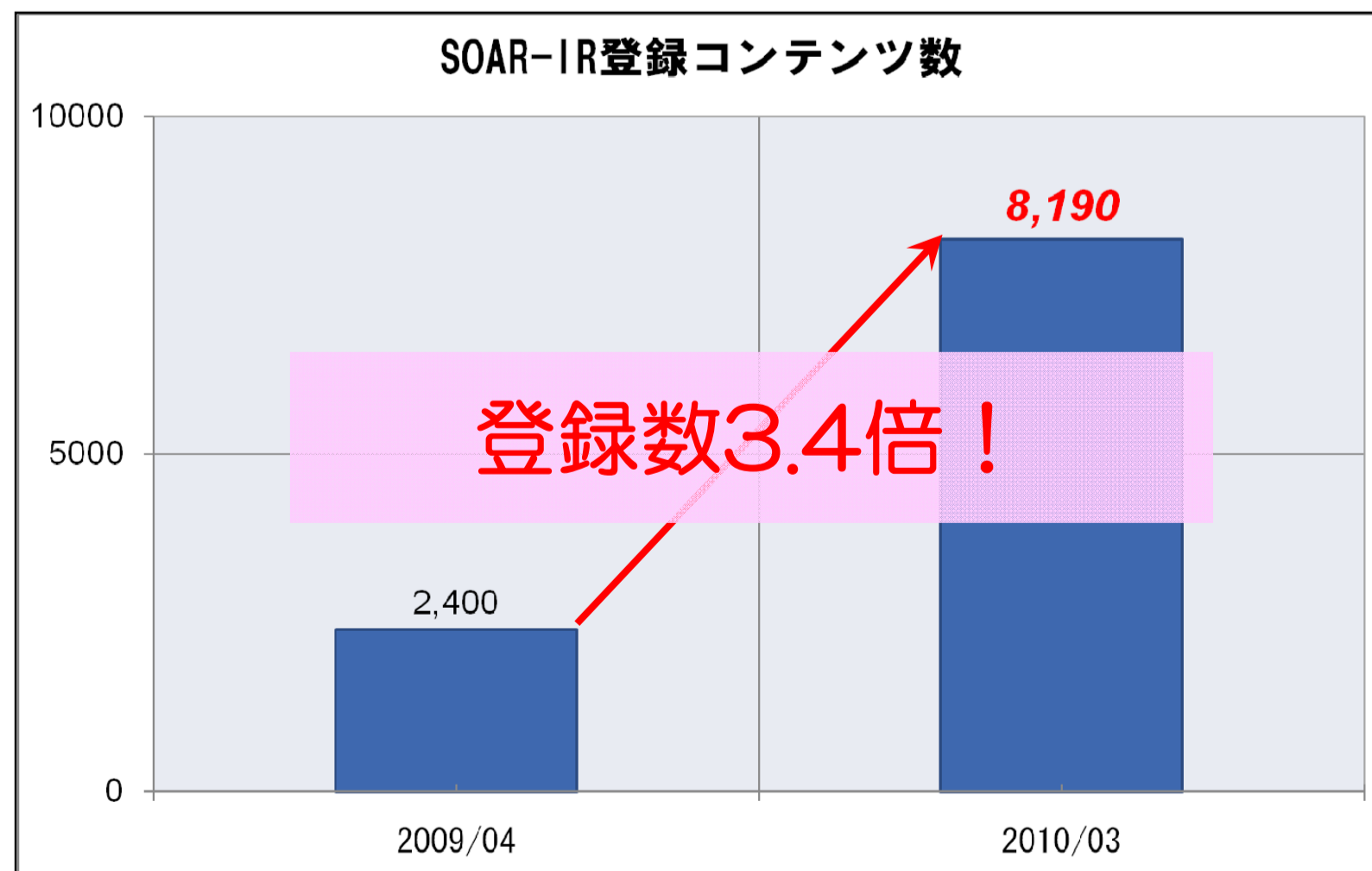
「シーズ発掘試験」
成果報告書

『蚕糸学雑誌』

平成21年度成果

SOAR-IR登録コンテンツ 8,190件

- 現在刊行中の紀要を網羅
- 学内の関連学会誌も収録開始
—『信州公衆衛生雑誌』
- 紀要の遡及登録範囲を拡大
—Web上での許諾依頼を活用
- ダウンロード件数は昨年度比2.5倍に
- 登録コンテンツは全て本文PDFあり



《今後の課題》

- ・学位論文登録の制度化
—提出と同時に登録を計画
- ・紀要遡及登録範囲の拡大
—Webでの許諾依頼実施中

SOAR-IR (機関リポジトリ)
・研究者の成果を保存・発信

SOAR-RD (研究者総覧)
・研究者のプロフィール・業績をアピール

視認度評価分析システム
・被引用・アクセス統計の分析を研究戦略に生かす

研究者への“SOAR”活用法のアピール